

題名：横浜労災病院で副腎静脈サンプリングを受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

| | |
|------------------------|---|
| 研究課題名 (承認番号) | 副腎静脈サンプリングにおける左副腎静脈の走行異常について (-) |
| 当院の研究責任者 (所属) | 張 沁彤 (スーパーローテート) |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | <p>原発性アルドステロン症は、血圧を上げるホルモン (アルドステロン) が過剰に分泌される病気です。片側の副腎に原因がある場合は、手術によって改善が期待できるため、正確な診断がとても重要です。そのために行われる検査が「副腎静脈サンプリング (AVS)」です。</p> <p>本研究では、これまで当院で AVS を受けられた患者さんの検査結果や画像情報をもとに、左側にできる腫瘍と、副腎の血管の走り方の特徴との関連を調べます。</p> <p>この研究により、今後の診断の精度を高め、より安全で確実な検査や治療につなげることを目的としています。</p> |
| 研究の方法 (利用する試料・情報) | <p>【研究の対象】 2022 年～2025 年に当院内分泌・糖尿病センターに入院した患者さんのうち、副腎静脈サンプリングを受けた患者さん。</p> <p>【研究の方法】 この研究は、上記の期間に当院内分泌・糖尿病センターに入院した患者さんの病名、身体データ、血液・尿検査データなどを参照させて頂き、解析するものです。そのため、皆様に改めて検査や問診をお願いすることはございません。電子カルテなどから下記のデータなどを収集し、左外側アルドステロン産生腺腫と左副腎静脈の走行との関連性について検討します。下記の情報は当院の研究者以外は利用しません。</p> <p>【研究に利用する情報】</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・保険病名、入院期間、手術情報 ・年齢、性別、身長、体重、高血圧罹病期間、血圧、内服薬 ・血液・尿検査のデータ(腎機能、血清カリウム、血清コルチゾール、レニン活性、血漿アルドステロン濃度、副腎静脈サンプリングの結果、各種内分泌負荷試験の結果など) <p>研究実施期間：2026年3月～2028年1月</p> |
| 利用する試料・情報の 該当期間 | 2022年1月～2025年12月 |
| 試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法 | 他の研究機関に提供する予定はありません |
| 個人情報の取り扱い | 利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | <p>電話：045-474-8111(代表)</p> <p>メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp</p> <p>担当者：張 沁形 (所属：スーパーローテート)</p> |
| 備考 | |